

気づこう、学ぼう、やってみよう、 私たちの逢坂から

大津市立逢坂小学校

子どもたちが環境に対する意識を高め、主体的に環境に関わる力を付けていけるよう、「気づこう、学ぼう、やってみよう、私たちの逢坂から」を活動テーマにして、身近なことから取り組みを進めている。

本校は平成15年度から滋賀県のエコスクールの認定を受け、子どもたちが体験的な活動を通して環境保全に対する意識を高め、主体的に環境に関わる力を付けていけるように取組を進めている。また、今年度より「しが環境教育リーディング事業」の「人と社会生活」の研究部会にも所属している。市街地にあるが恵まれた自然環境の中で、子どもたちはビオトープや近くにある吾妻川で生き物の観察をしている。また、地域の「逢坂の川を愛する会」の方々と一緒に、吾妻川の清掃をしたり、4年生の学習をすすめたりしている。また、古紙のリサイクルやごみの減量、クリーン活動などに全校で取り組み、より良い学校や地域づくりを目指して、身近なことから環境の学習を進めている。

1. 恵まれた自然環境

校庭に迫る裏山では、四季の移り変わりを感じることができる。近年特に、餌を求めて下りてくる鹿の糞や足跡が多く見られ、学年園の野菜や植物が被害に遭うことが多く、その対策に頭を痛めている。

近くを流れる吾妻川には、水生生物がたくさん生息し、川に入って直に生き物に触れたり、水の感触を味わったりすることができる。

2. 主な取り組み

総合的な学習の時間や生活科の学習で、次のような環境学習を進めている。

☆1年 「あさがおを育てよう」
「丸山公園で自然に触れ合おう」
「秋と遊ぼう」他

☆2年 「ミニトマトや大根を育てよう」
「ビオトープでざりがにを見つけよう」

1・2年生は、校庭や公園、ビオトープでのびのびと遊び、生き物や草花、木、風、太陽のなど身近な自然を、五感を通して体いっぱい

感じるような学習をしている。

☆3年「私たちはエコスクールキッズ」

自分が家庭でしている「身近なエコ調べ」から学習を始めて、節電や節水などのエネルギーの消費を少なくするエコ、使った物を違う製品に変えるリサイクルなど、さまざまなエコを発見した。また、10月からは自分が興味を持ったエコ活動について、インターネットで調べ、グループで模造紙にまとめて発表会を行った。

☆4年 「吾妻川のひみつをさぐる」他

総合的な学習の時間（逢愛タイム）に位置付け、現地での体験学習を通して、身近な川の環境について学習してきた。（詳細は、後述）

☆5年 「琵琶湖環境学習（F.S.）」

F.S.（フローティングスクール）に向けての事前学習を中心に琵琶湖の環境について考えた。



また、「オーパル体験学習」では、カヌー体験や琵琶湖の水環境の学習を行った。

＜オーパル体験の様子＞

☆6年「地球環境の学習」他

森林・大気・水・エネルギーなどについて自分なりに課題を持って調べ、地球環境について考えた。

☆わかば学級 「さつまいもの栽培」

「ポップコーンやミニトマトの栽培」他

毎年、さつまいもの栽培に取り組み、収穫している。さらに今年度は、ポップコーンやミニトマトの栽培にも取り組み、植物の成長に興味を持ち、収穫を楽しみに進んで水やりをする姿が見られた。

☆環境委員会（生き物キラキラ委員会）

学校の玄関にあるエコスクールコーナーの魚の世話やタナゴの繁殖実験などを行っている。

また、校内のゴミ減量のために各クラスで出たゴミの量を調査したり、紙のリサイクルを訴えるビデオ作成にも取り組んだ。

☆全校の取り組み

- ・古紙のリサイクルやごみの減量

子どもたちに最も身近な紙類のリサイクルに全校で取り組んでいる。学級ごとに古紙回収用の「リサイクルボックス」を置き、余ったプリントや工作等で出た端紙などを入れて、ごみと分別して回収している。これによって、ごみの量はかなり減り、古紙の資源化の意識が定着してきた。

- ・クリーン活動

クリーン条例に基づく年3回の活動（ごみゼロの日・琵琶湖の日・県下一斉清掃の日）と合わせて校内クリーン活動週間を設定し、全校で校舎内外の環境美化活動に取り組んでいる。

3. 代表的な実践例 4年生の取り組みから

(1) 単元名 「吾妻川のひみつをさぐろう」

(2) 単元の目標

- ・環境に興味を持ち、課題を発見することができる。
- ・課題解決のための計画を作り、活動することができる。
- ・調査結果をもとに、川の特徴について考察することができる。
- ・川と人々の生活との関わりを知り、川のあるべき姿や将来について考えることができる。

(3) 単元について

本単元で扱う吾妻川は全長が短く、上流から河口まで川のほぼすべてを短期間で観察することができる。また、上流は尖った石がたくさんある谷川であるが、中流から河口にかけては、街中でよく目にするコンクリートで囲まれた川に姿を変える。さらに、全流域に数多くの水生昆虫が生息し、捕獲や観察が容易である。一方、川の水を利用し、魚の養殖をしている人がいたり、全流域で川の環境保護を訴える多くの看板が設置させていたりするなど、川と人の生活とのつながりも強い。しかし残念なことに、上流には不法投棄された大型ゴミや捨てられた道具、下流にはポイ捨てされたレジ袋やペットボトル、空き缶などが目立つ。特に河口付近はよどみがあり、ゴミがたくさん浮いている。

子どもたちには自然保護だけではなく、人々と川とのつながりや願いにも気づかせ、川を守

っていくこうとする気持ちを育てたい。

(4) 指導計画（全40時間）

- 第一次 吾妻川の概要を知る（2時間）
- 第二次 課題をつかむ（8時間）
- 第三次 調査の計画を立てる（2時間）
- 第四次 調査を行う（9時間）
- 第五次 調査結果をまとめて交流する。（8時間）
- 第六次 川と人とのつながりについて知る。（6時間）
- 第七次 学習のまとめ（5時間）

(5) 実践結果の成果と課題

一学期から現在・過去・未来の吾妻川についての学習をすすめてきた。川の水を使って、昔から魚の養殖をされているところに見学に行ったり、川と共に70年以上暮らしている地域の方や「逢坂の川を愛する会」の会長さんのお話を聞いたりした。過去に日本一汚れている川として新聞で報道されたことや、その報道をきっかけに川を愛する会が設立され、川の環境を保全するための取り組みがなされてきたことを学習することができた。学習のまとめでは、過去の吾妻川を踏まえ、未来の吾妻川のために自分たちができることについて考える学習活動に取り組んだ。

<川の環境保護を訴える看板>



4. 成果と今後の課題

各学年および委員会などの取り組みを行うことで、子どもたちは環境やエコについてより身近に感じる事ができた。ただ校舎の改築工事に伴い、現在はビオトープが校舎から離れたところにあたり、学年園や畑に限られたものになったりするなど課題も多い。しかし、子どもたちは身近な環境が自分たちの生活と深く結びついていることに気づき、今後も環境をよくしていこうという気持ちを持って実践を進めていこうとしている。

学校名	大津市立逢坂小学校
住所	大津市音羽台6番1号
電話番号	077-522-6753
E-mail	osaka@otsu.ed.jp